

- 6月の土砂災害防止月間における取組みの一環として、岐阜県多治見土木事務所、多治見市、土岐市の職員と合同で砂防施設点検を実施
- 点検では砂防施設の機能が維持されているか、溪流の状況を含めて確認するとともに、点検において気を付けるべき点について自治体職員と共有

<実施概要>

■点検概要

日時:令和5年6月21日(水) 14:00~15:30
場所:砦山第4砂防堰堤、砦山第7砂防堰堤 (土岐市)

■参加者(15名)

中部地方整備局 多治見砂防国道事務所
岐阜県多治見土木事務所、多治見市、土岐市
多治見さぼう・みちボランティアクラブ

■実施内容

- ・砂防施設の目視点検や打音検査
- ・ドローンを用いた堰堤背面や上流部の状況確認
- ・施設点検に係る意見交換 等

<点検の状況>



砂防施設点検の説明



ドローンを用いた点検



砂防施設の点検
[砦山第4砂防堰堤]



砂防施設の点検(打音検査)
[砦山第7砂防堰堤]

■参加した自治体職員の感想

- ・ドローンを用いた施設点検では、初めての操作でも施設を様々な角度から確認でき、ドローンの有効性を良く理解できた。(岐阜県多治見土木事務所)
- ・打音検査による堤体コンクリートの健全性確認を初めて行ったが、健全性による打音の違い分かりやすく良い経験になった。(多治見市)
- ・今回点検したような砂防施設が、今後も多くの土石流を止め、市町を守っていただけるのはありがたい。(土岐市)
- ・砂防施設の存在意義について改めて認識する機会になった。今回点検の経験を、今後の点検時に活かしたい。(土岐市)